

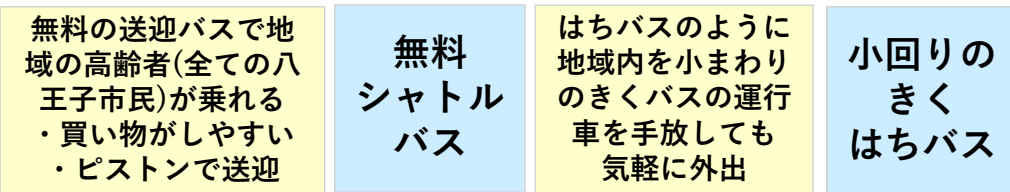
インフラ整備

まちづくり



交通

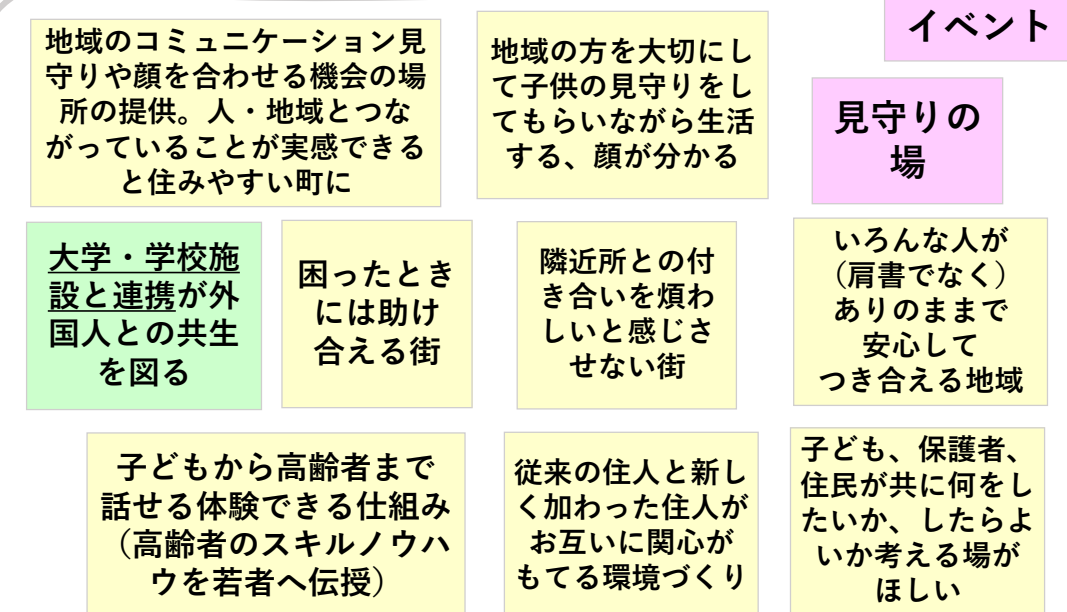
交通の発達が新旧住民の交流につながる



道を整備

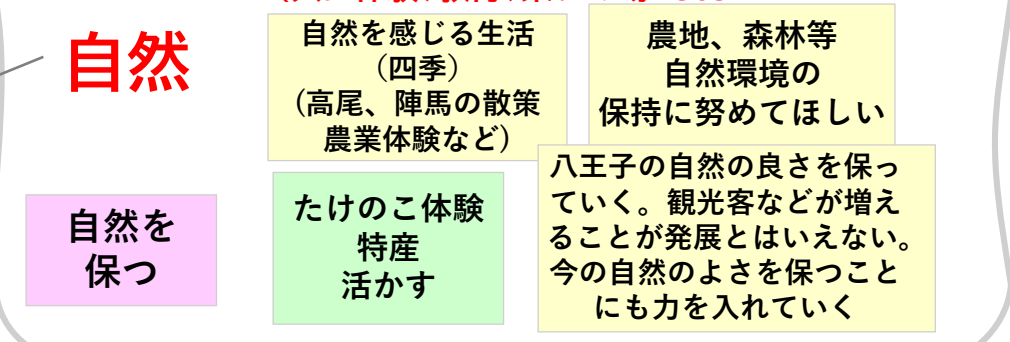
つながり・交流

中山は人材にはめぐまれているそこを掘り起こせたら良い!



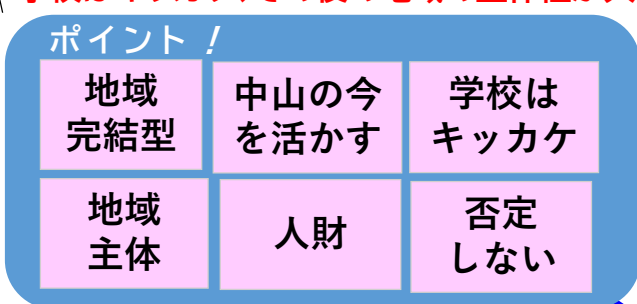
自然

自然は共発達のための手段になる(共に体験、教育、集いの場 etc)

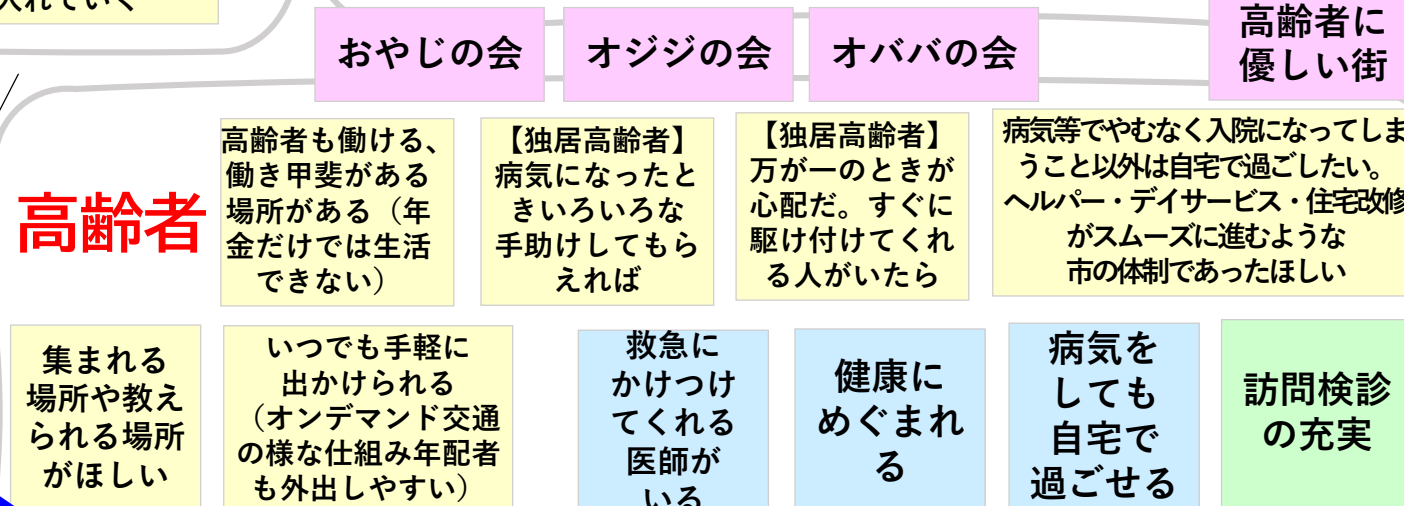


自然を保つ

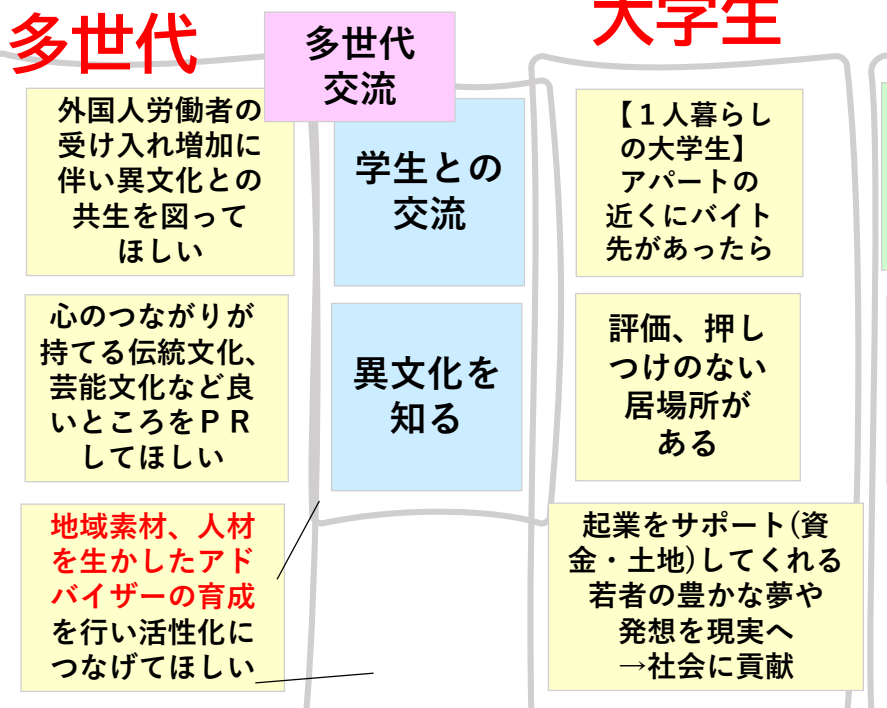
親世代から内発的に地域のつながりを生む学校はキッカケ、その後の地域の主体性が大切



高齢者

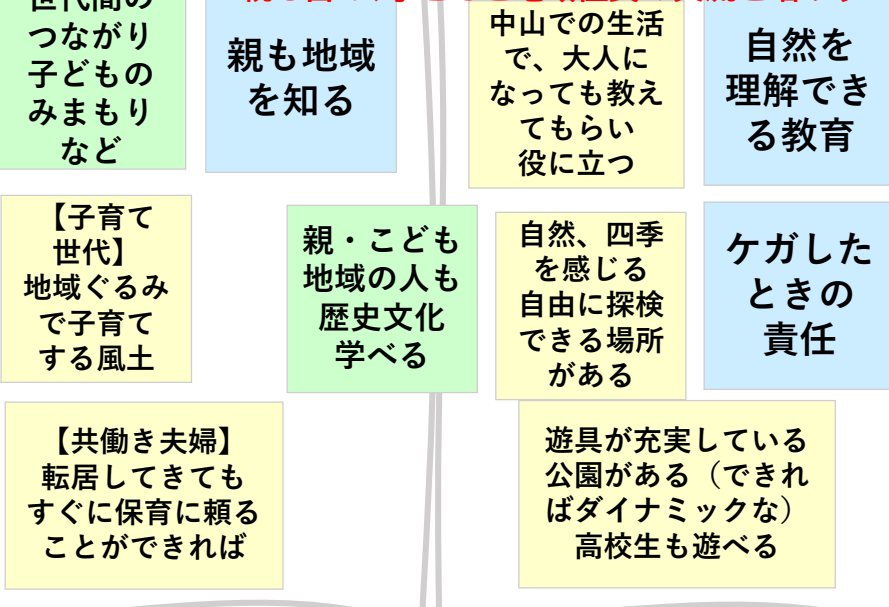


生活支援



現役世代

親も含め、子どもと地域住民の交流を増やす



子ども

キーワード

ともはつたつ
「共発達できるまち」
 ~豊かなしぜん・ひと・中山のいまを活かして~

- 中山に多くの資源がある。地域住民はボランティアやイベントに協力的で、自然も豊富。その資源を活かして、世代を問わず、子どもからシニアまでが共に学びあい過ごせる中山を目指す。共発達の手段として、「自然」「学校」等が使える。
- 義務になってはならない。住民の主体性が持続可能の秘訣。